

教育課程

(1) 生徒数

平成23年5月1日現在

学年 性別	1年	2年	3年	合計
男	58	56	59	173
女	48	28	41	117
計	106	84	100	290

(2) 教科別配当時数

	必修教科									道徳	特活	選択	総合	授業 総時数
	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健	技術					
1学年	140 (4)	105 (3)	140 (4)	105 (3)	105 (3)	45 (1.3)	45 (1.3)	90 (2.6)	70 (2)	35 (1)	35 (1)	0 (0)	65 (1.9)	980 (28)
2学年	105 (3)	105 (3)	105 (3)	140 (4)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	90 (2.6)	70 (2)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	85 (2.4)	980 (28)
3学年	105 (3)	85 (2.4)	140 (4)	140 (4)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	90 (2.6)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	70 (2)	980 (28)

(3) 週時程表

日	課	50分授業の時程	月	火	水	木	金
生徒登校		～ 8:25	生徒登校				
職員打合		8:15 ～ 8:25	月, 水, 金の予定				
朝読書		8:25 ～ 8:35	朝読書				
朝の会		8:35 ～ 8:45	朝の会				
1校時		8:50 ～ 9:40	1	6	12	18	24
2校時		9:50 ～ 10:40	2	7	13	19	25
3校時		10:50 ～ 11:40	3	8	14	20	26
4校時		11:50 ～ 12:40	4	9	15	21	27
給食 昼休み		12:40 ～ 13:15 13:15 ～ 13:40					
5校時		13:40 ～ 14:30	5	10	16	22	28
6校時		14:40 ～ 15:30	29 時数調整	11	17	23	29 時数調整
清りの 掃り		15:30 ～ 15:50 15:50 ～ 16:00	※29時数調整は、カットの授業、45分授業の回復であるが、 同じ日に2時間同じ教科がはいる場合もある。				
諸活動		16:00 ～ 16:45					

(4) 月別授業日数・学校行事等

月	日数	土日祝	休業	合計	授業日数	備考	
4月	30	1年 2・3年	9 9	7 6	16 15	14 15	学年始休業(4/1～4/7) 着任式(11) 入学式(12) 対面式 発育測定 市学力検査, PTA総会 学年学級懇談会
5月	31	1・2年 3年	13 13	0 1	13 14	18 17	生徒会総会 野外活動 校外学習 修学旅行 部活動保護者会 長距離走大会
6月	30		8	0	8	22	開校記念日(18) 選手激励会 市中総体 地域防災訓練
7月	31		11	7	18	13	校内合唱コンクール 夏休み(7/22～8/24) 三者面談 家庭訪問 国際交流
8月	31		8	16	24	7	3年実力考査 館中祭準備期間
9月	30		10	1	11	20	館中祭 期末考査 生徒会役員選挙 授業参観 学年懇談会 長距離走大会
10月	31		11	2	13	18	新人大会 秋休み(11～12) 始業式 運動会
11月	30		10	0	10	20	自分づくり 避難訓練, 教育相談・三者面談(3年)
12月	31		10	5	15	16	冬季休業(12/23～1/9)
1月	31		11	6	17	16	入学説明会
2月	29		8	0	8	21	私立高入試 期末考査 教育相談(1・2年) 3年学年懇談会 3年生を送る会
3月	31	1・2年 3年	10 10	5 13	15 23	16 8	公立高入試 同窓会入会式 卒業式 1,2年学年, 学級懇談会 学年末休業(3/24～)
1年生	366		119	48	168	201	
2年生	366		119	48	167	202	
3年生	366		119	57	176	193	

平成23年度 校内研究計画

1 研究主題

「確かな学力の育成をめざして」

～基礎的及び発展的な学力を高める指導の工夫と新学習指導要領への円滑な移行～

2 主題設定の理由

仙台市で「確かな学力の向上」を最重要事項に掲げ、基礎的な知識及び技能と主体的に学習に取り組む態度である学習意欲などを含む学力である「確かな学力」を育成するための施策を実施し、子どもたちが社会で生き抜く力を身に付けることを目指している。

本校では、生徒に身に付けさせたい基礎的、発展的な学力を明確にし、目的や課題に向けて主体的に学び合い、「確かな学力」の育成を目指して指導のあり方を探ることとした。昨年度、本主題で2年目の研究に取り組み、実践を基盤とし、生徒が主体的に学び、学習内容を深めながら個人の力を伸ばすことを目標により良い授業づくりに努めた。教科で基礎的・発展的な学力を明確にし、普段の授業や研究授業を通して、指導方法や学習形態の創意工夫を図りながら研究を進めた。市標準学力検査や学習実態調査等で実態を把握し、身に付けさせたい学力を明確にして、教科の研究主題を設定して、主題に迫るための手立てを講じ実践を行い、指導方法の改善を図った。

研究結果から、個人差の大きい発展的な学力の定着・向上が課題であると考えられる。そのため、知識や技能の習得を図りながら、いかに活用して自分のものとするかということに重点を置いた指導を行うことが必要である。目的や課題に対する意識及び主体性を喚起させるような授業を目指し、新学習指導要領への円滑な移行に向けて「言語活動の充実」を教科の目標を達成するための重要な手段・方策としてとらえ研究を深めていきたい。

3 研究主題のとりえ

「杜の都の学校教育」で、「確かな学力の育成」があげられている。また、その三要素は、○基礎的知識（基礎的な知識及び技能）○応用力（基礎的知識を活用し課題を解決するために必要な力）○学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）とされている。本校では「確かな学力」とは、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力ととらえる。具体的には、知識・技能、学ぶ意欲、問題解決能力、表現力、判断力、思考力、課題発見能力、学び方などがあげられた。

4 研究の目標

各教科の基礎的・発展的な学力を明確化し、指導方法や学習形態の創意工夫を図る。また「言語活動の充実」を踏まえ、基礎的な知識や技能の習得を図りながら、活用して自分のものとするかということに重点を置いた指導方法についての研究・実践を行い、確かな学力を育むことをねらいとする。

5 研究の方法

- ・教科等でペア・グループ学習などの有効的な活用や「言語活動の充実」を踏まえた取り組みを行い、基礎的知識や技能の習得を図り、それらを活用したり、知識・技能の定着を深めたりする学習指導を探る。
- ・教科において学習自己評価カードや学習実態調査を活用し、生徒の授業での理解度を測る。
- ・教科の授業研究の充実を図り、研究推進構想図を活用し授業改善に努める。
- ・定期的に課題の設定・回収・点検を行い、家庭学習の充実を探る。
- ・小中連携は、昨年度同様に中学校の授業見学や出前授業、部活動見学及び体験、陸上競技の合同練習会、自分づくり発表会、児童生徒合同会議などを中心に連携を図る。